

令和5年

9月号

No.647

今月
の
ご法話

人を思いやること

法音

日蓮宗
法音寺



勇猛精進

堪忍 かんにん

全てのことに「はい」と言おう

堪忍できる

全てのことに感謝しよう

堪忍できる

全てのことを喜ぼう

堪忍できる

続ければ仏になれる

月刊・法音 令和5年9月号 No.647 目次

【信仰の指針】一期一会 いちごいちえ 今この時を大切に生きましょう — 1
【朝のこない夜はない】
人を思いやること 山首 鈴木正修 — 2

◆秋のお彼岸です — 21

◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください — 22

◆全山三斎清掃奉仕の日のご案内 — 24

◆仏教漫画『日蓮さま』・17慈母蘇生 — 25

◆慈母蘇生 — 33

◆お寺の本棚 — 34

◆常寂光土への誘い (14) — 36

◆やさしい仏教 — 38

◆のりのね体験 — 40

◆支院だより — 42

◆福祉のひろば — 44

○幸せのお手伝い — 58

○昭徳会・「障がい者支援センターたいざん」開設 — 57

○福祉セミナーお申込みのお願い — 60

○法音寺は「信仰と福祉のお寺」です — 62

○日本福祉大学・全国各地で日本福祉大学セミナーを開催しています — 63

◆賛助員ご芳名 — 64

◆幸せの種まき／編集後記 — 66

◆連載まんが・ひまわり・128 少数派はつらいよ — 68

◆法音寺の社会福祉・教育事業 — 69

表紙題字 山首上人さま書

表紙写真・ひまわり

掲載写真 表紙・信仰の指針

3～21頁…梅田雅臣氏撮影

2頁…加納将人氏撮影

信仰の指針

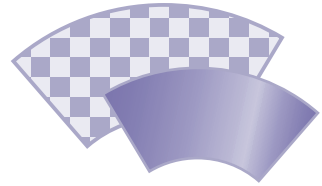
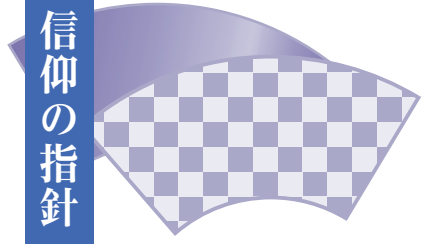
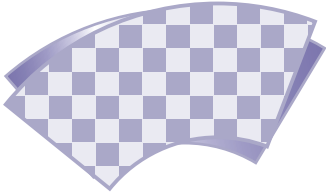
いちごいちえ

一期一会

今この時を

大切に生きましょう

日教五



人參の花



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

ひと 人を思いやること

最近、二回続けて宗門の方の御葬儀に参列させていただきました。最初は私が若い頃から大変お世話になった方でした。

そのお通夜の席で、私と同一年で昔から仲良くさせていただいているお上人と偶然お会いしました。その時に「最近、少し体調を崩している」と言っておられ、「また体調が良くなられたら、お食事でも一緒にしましょう」とお話をしてお別れました。

その二日後の朝です。その方が亡くなられたという電話が入りました。「体調を崩している」と言われていたが、とてもお元気そうでしたから大変びっくりしました。

すぐに弔問にうかがいました。そこで、お庫裡さまから、



寝ている間に不整脈が起こって亡くなられたとお聞きしました。人生の諸行無常を感じずにはいられませんでした。人生には何が起こるか本当にわかりません。

最近、世界的なニュースになった潜水艇の事故がありました。3800メートルの海底に沈んでいるタイタニック号を見に行くという探索ツアーで、タイタンという潜水艇が行方不明になり、結局、乗客・乗員、全員が亡くなったという事故です。

爆発的な力で潜水艇は圧縮され、破壊されたことから、メデイアの一部は「爆縮」と報じていましたが、実際は圧力による破壊なので「圧壊」という言葉が適切だそうです。水圧は10メートル深くなるごとに1気圧ずつ高くなるため、水深3800メートルでは380気圧です。380気圧とは1センチ四方に380キロの重さがかかるという、想像



を絶する圧力です。その水圧によって潜水艇は一瞬で潰され、その際に起きる「断熱圧縮」と呼ばれる働きで船内の温度は6000〜8000℃近くまで上昇したと見られるそうです。5人の乗客・乗員は1ミリ秒（1000分の1秒）もたないうちに潜水艇もろとも圧縮され、超高温下で人体は跡形もなく消えてなくなると考えられるそうです。

乗客・乗員、全員が自分の死に気づいてすらいなかったのではないとも言われています。ただ、この悲惨な海難事故に被害者の友人の一人は「彼らが苦しまなかったのであれば、せめてもの救いだ」と言っているそうです。本当にどこに死が待っているかわからないものです。

以前に聞いた話です。お通夜の席でこんな説教をされたお坊さんがいたそうです。



「皆さん、今日は故人からの最後にして、最大のメッセー
ジがあります。それは『みんな死ぬぞ。だから心して生き
よ』です」

今回、お通夜に参列した時に私は本当にその通りだと感
じました。

「武士道と云うは死ぬことと見つけたり」という一節で有
名な『葉隠』という書物があります。佐賀・鍋島藩士の山
本常朝という人が語ったことが本になったものです。

山本常朝は言います。

「身分や老若に関係なく、人は悟っても死に、迷っても死
ぬ。ともかくにも、人は死ぬ定めなのである。誰であれ、
このことを知らないわけではない。実は、極意というもの
がここにある。誰もがやがて死ぬと知ってはいるものの、
自分だけは皆が死んでしまった後に死ぬように錯覚して、



まさか今にもその順がめぐってくるとは少しも思っていない。寂しいかぎりではないか。死というものに対しては、何も役に立つものではなく、現実はまだで夢の中の戯れにも等しい。このことをよく自覚し、決して油断してはならない。それが極意である。今すぐにでも起きる問題なのだから、しっかりと心の準備をしておくことだ」

本当にこの通りだと思えます。死を前にしては身分も老若も、悟っている人も迷っている人も何も関係ないので。

ほうおんじ 法音寺では始祖の杉山先生以来、「今日一日を一生懸命に生きよ」と教えられています。これが何より大事なのです。いつ死が来ても後悔のないように、今日一日を、今を一生懸命に生きるのです。杉山先生は「明日、死んでも悔いのないくらい今日、精一杯徳を積みなさい」とよく言われたそうです。



しかし、私達は凡夫ですから大なり小なり後悔をするものです。皆さんはお彼岸やお盆になりますと、お墓参りに行かれると思います。私も行きます。その時、日達上人のお墓の前で手を合わせますと、〃もつと親孝行すべきだった〃という思いでいっぱいになります。家内のお墓はまだありません。遺骨が自宅の仏壇に祀ってあります。一周忌に納骨をしようと思っております。毎朝・毎晩、家内の遺骨に手を合わせながら、やはり思います。〃もつと色々なことがしてあげたのではないかと。しかし、これは仕方のないことかもしれません。誰でも身内や友人を亡くすと、そういう後悔や懺悔の念がついて回るものです。

平成19年に亡くなった世界的な建築家・黒川紀章さんは、亡くなる直前に都知事選や参議院選に出馬され、バラエティー番組にも出演されました。



奥さんの若尾文子さんは、黒川さんがもう死を迎えると
いう時に懺悔をされたそうです。若尾さんが「私は仕事で
よく家をあけて、いい奥さんではなかったですね。ごめん
なさい」と言うと、黒川さんは「何を言っているんだ。大
好きだったんだから。君がいてくれるだけで幸せだったん
だよ」と言って最期に手をぐっと握られたそうです。いい
話だと思いました。若尾さんも気持ちが悪くなったのでは
ないかと思えます。

黒川さんは世界中で建築を手掛けられていました。どの
建物も必ず竣工式の直前に若尾さんを連れて、自家用ジェ
ットで見せに行かれたそうです。飛行場が近くにない場所
では、その上空を飛行機で旋回するだけのこともあったそ
うです。

完成した自分の作品を若尾さんに見せる時が、黒川さん
にとっては至福の時だったのではないでしょうか。



以前、『死ぬ時に後悔すること25』という本がベストセラーになりました。その本を読んだ時に、人間はしなかったことに対していろいろと後悔をするものだということを学びました。その本の中で著者の大津医師が「心の優しい人は後悔が少ない」と言っています。

「人をいじめることがよくあるのなら、心を入れ替えた方がよい。優しさが足りないのならば、優しさを意識したほうがよい。それらは死が迫った時の、後悔の一因となる。他を蹴落とし、どんな勝負に勝ってきたとしても、同じように努力しても決して勝利できないのが死である。けれども、生の終わりを敗北でなく、完結ととらえられるのなら、死は恐るべきものではなくなる。単なる浅い気遣いではなく、他人に心から優しくしてきた人間は、死期が迫った時、自分にも心から優しくできるものだ。だから真に優しい人は、死を前にして後悔が少ないのである。人間を愛



して止まなかった、本当の優しさを持った患者さん達を私はたくさん知っている。彼らの微笑みは、どれだけ時を経ても、私の脳裏に刻み込まれている。彼らは後悔の先にあった。優しさがそれを導いたのは間違いない」

『オグ・マンディーノ人生を語る』という本があります。オグ・マンディーノはアメリカの成功哲学系の作家です。オグ・マンディーノはこの本の中で、自分が体験した真の成功法則を17のルールとして紹介しています。そのルール10「今日一日かぎりの命のつもりで人に接する」が今回、参考になると思います。

「もし今日会った人々が、その日の終わりまでに永遠に逝ってしまふとわかっていたら、その人どう接しますか。どうするか、おわかりですね。これまでより、思いやりと心遣い、優しさと愛情をもって接するはずです。そして、



相手はあなたの優しさにどう反応するでしょうか。無論、あなたがこれまで他の人から受けたことがない程、思いやりや労り、協力的な態度や愛情を示すはずです。これを毎日繰り返すとします。そして、そうした無私の愛情で一日を満たせば、あなたはこの先どうなるでしょう。すでに笑みを浮かべておいでですね。答えはおわकारいのようです」

オグ・マンディーノが言うように、朝起きてから会う人すべてに対して、この人は今日限りでいなくなるのだ。と思つたら、必ず優しく接することができるはず。これを毎日繰り返していけば、必ず後悔のない人生となり、真の幸せを手に入れることができると思います。

私は毎週『日本講演新聞』という週刊の新聞を購読しています。その中部支局長の山本孝弘さんが「人に対する思いやり」についてエッセイを書いておられます。



山本さんは若い頃に東京のステーキ屋さんで働いていたことがありました。家族連れで来ていたお父さんに、山本さんが「お肉の焼き加減はいかがなさいますか」と聞くと、「生姜焼きで」と言われました。山本さんは恥をかかせないように、とっさに「ではソースはジンジャーソースにいたしますね。お肉はよく焼いた方がいいですか。普通がいいですか」と聞き方を変えられたとのこと。ただ、奥さんが気の強そうな人で「あんた、何バカなことを言ってるの」とお父さんが叱られて、気の毒になったという話ですが、その店ではお客さんに対するいろいろなマニュアルがあったそうです。例えば高齢の方が誤って客席で失禁してしまったという場合には、ピッチャーで水のおかわりを持っていき、わざと足を滑らせてお客さんの下半身に全部かけて、演技で「申し訳ございません」と謝り、お客さんをバックヤードにお連れするのだそうです。絶対にお客さんに恥を



かかせないようにするという、そういう思いやりのある店
だったということです。

私が学生時代に東京にいた時に、よく通ったおいしいス
パゲッティ屋さんがありました。仲のいい友人とよく行っ
たのですが、ある日のお昼に行った時、私が食べ終わると、
隣の友人がめずらしく残しているのです。「どうしたんだ」
と聞くと「いやあ、ちよっと」と言っ、そのままお店を
出ましたが、もう一度「どうして残したんだ」と聞くと
「小さなゴキブリが入っていた」と言うのです。お客さん
がたくさんいるお店の中で「ゴキブリが入っていたよ」と
言くと、お店にもものすごく迷惑になると思い、食べるのを
やめて、ゴキブリをスパゲッティで隠して残してきたとい
うのです。その時の友人の心遣いに感心したのを山本さん
の話から思い出しました。



山本さんが次に働いた会社でのことです。ある時、上司に報告書を提出しました。その会社は紙を無駄にしないように裏面もちゃんと使うように奨励されていたので、そのように出しました。すると上司がその報告書を読んで烈火のごとく怒りました。叱られながら山本さんは「違う面を見ているな」と気づきました。上司は何カ月も前の報告書を見ていたのです。山本さんは即座に言う「上司の立場がなくなると思い、やんわりと「反対の面を見ていただけですか」と言い、さらに「私の提出の仕方が悪かったです」と謝りました。すると上司は一瞬、「しまった」という顔をされたのですが、「提出の仕方が悪い」とまた怒ったというのです。その日の夜はどうにも納得がいかず、眠れなかったそうです。でもその後、やはり相手を立てて正解だったと思っただけです。それというのも、何となく次の日からその上司の態度が変わり、自分を信頼してくれるように



なった気がしたというのです。山本さんが、恥をかかせないように気を使ったことに上司は気づいていたのです。

デール・カーネギーが大ベストセラー『人を動かす』の
中で言っています。

「私は残念ながら40歳近くになってやっと、人間はた
え自分がどんなに間違っても決して自分が悪いとは思
いたがらないものだ」ということがわかりかけてきた。他
人のあら探しは、何の役にも立たない。相手はすぐさま防
御態勢を敷いて、何とか自分を正当化しようとするだろう。
それに自尊心を傷つけられた相手は結局、反抗心を起すこ
とになり、誠に危険である」
「人を非難するかわりに、相手を理解するように努めよう
ではないか。どういうわけで、相手がそんなことをしでか
すに至ったか、よく考えてみようではないか。その方がよ



ほど得策でもあり、また、おもしろくもある。そうすれば、同情、寛容、好意も、おのずと生まれ出てくる」

ひすいこたろうさんというコピーライターがいます。この人はコピーライターが本業ですが、本もたくさん出されています。その多くがベストセラーになっています。ある時、本の原稿の締め切りが迫っている中、コピーを何種類か考える仕事を依頼されたことがあります。断り切れず一生懸命、寝ずに考えて提出したところ、担当者から電話がありました。担当者はとても言いづらそうに「企画が変更になりました。大変申し訳ないのですが全部ボツになりました。三日後までにまたお願いできませんでしょうか」と言ったそうです。

それに対してひすいさんは「気にしないでください。よくあることじゃないですか。何度でもやりますよ」と言っ



たそうです。ひすいさんはこういう場合、相手^{あいて}が困^{こま}っている時^{とき}こそ、相手^{あいて}の想像^{そうぞう}を超^こえることをすると自分^{じぶん}も限界^{げんかい}を超^こえられる。また相手^{あいて}の心^{こころ}の中で自分^{じぶん}が伝説^{でんせつ}になるチャンスだ^{おも}と思う^{おも}ようにしている^{して}いる^いる^るそう^{そう}です。これ以後^{いご}、その担^{たん}当者^{とうしや}はギャラの高^{たか}い仕事^{しごと}をひすいさんに回^{まわ}してく^くれる^るよう^{よう}にな^なった^たとの^のこ^こと^とです。

ギャグ漫画家^{まんがが}・赤塚不^{あかつかふ}二夫^{ふじお}さんが『天才^{てんさい}バカボン』の連^{れん}載^{ざい}をして^{して}いた^{いた}時^{とき}の^の話^{はなし}です。締切^{しめき}りの前^{ぜん}日^{じつ}に、原稿^{げんこう}を若^{わか}い編^{へん}集者^{しゅうしや}に手渡^{てわた}しました。少^{すこ}しして、その編集者^{へんしゅうしや}が慌^{あわ}てて戻^{もど}てきました。赤塚^{あかつか}さんが「どうしたんだ」と聞^きくと、編集^{へんじゅう}者は「先生^{せんせい}、申し訳^{わけ}ありません。原稿^{げんこう}をなくしてしま^{しま}いました」と言^いう^うのです。タクシーの中^{なか}に置^おき忘^{わす}れて、そのタクシーがわ^わから^らない^いとい^いう^うのです。普通^{ふつう}の人^{ひと}ならそ^そこで「何^{なに}をや^やっている^いる^るんだ」と怒^{おこ}ります。しか^{しか}し、赤塚^{あかつか}さんは



今にも泣き出しそうな編集者に対して「そうかそうか。大変だったな。すぐにもう一度描いてやるから心配するな。その前に一杯、飲みに行くか」と言ったそうです。

編集者が「先生、そんなことよりも」と言うと、赤塚さんは「いいからいいから。帰ってきたらすぐに描いてやるから。ちゃんとネーム（脚本）が残っているから大丈夫」と言って二人で飲みに行ったそうです。帰ってからすぐに原稿を描き上げると赤塚さんは「二度目だから、前回よりうまく描けたよ」と言って編集者に渡したそうです。すばらしいですね。こういう人間になりたいものです。

その後、タクシーの運転手さんが赤塚さんのところに元の原稿を届けてくれました。すると赤塚さんは編集者を呼んで、「この原稿は君にあげるから、二度と同じ失敗をしないように、これをお守りとして持っているといい」と言っていたそうです。その編集者は赤塚さんが亡くなるまで三十



五年間その原稿を持っていたそうです。そして、赤塚さんのお葬式の後に赤塚さんの娘さんに返したということです。ひすいさんの話にしても、赤塚さんの話にしても、人に接する時にはいつも堪忍と慈悲が大事だということがよくわかります。

今日一日とともに、一期一会の精神で世に処し、人に接することが肝要であると思います。



秋のお彼岸です。

ご先祖さまに感謝の誠を捧げましょう。

法音寺本山は

9月23日(土・祝)

秋季彼岸会が行われます。

ご家族お揃いでご参詣ください。

◆今月の山首上人さまご親修日程

和泉支院	9月3日(日)	佐屋支院	9月4日(月)
関支院	9月13日(水)	瀬戸布教所	9月19日(火)
大垣支院	9月21日(木)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	3日・10日・23日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	3日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・22日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・10日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0586)72-7208
一宮支院	2日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・21日	北名古屋九之坪東ノ川20	☎(0568)245-2939
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・10日・21日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・13日・24日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	3日・16日・24日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・24日	郡上市八幡町小野7-2-1-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・10日・21日	伊賀市上野向島町3-4-7-5	☎(0595)21-0127

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・18日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	3日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	10日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
福井布教所	2日	あわら市春宮3-28-2	☎(0776)73-5234
和泉支院	3日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	9日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衛910	☎(0799)42-0175
岡山支院	3日・7日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	3日・17日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	9日・24日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	2日・17日・24日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	3日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	3日・15日・17日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・22日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	10日・24日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	10日・24日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-11819
名古屋地区	7日・17日・23日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・30日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	11日・24日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

2023

全山 一斉 清掃

10/8 (日)



育成キャラクター
ほうおんくん

法音寺のご縁を通じて日本全国をきれいに美しく
仲間と掃除を通して心も体もリフレッシュしませんか？



- ◆詳しくは支院青少年育成担当までおたずねください
- 皆さまお誘いあわせの上、ご参加をお待ちしてます

主催：法音寺青少年育成委員会

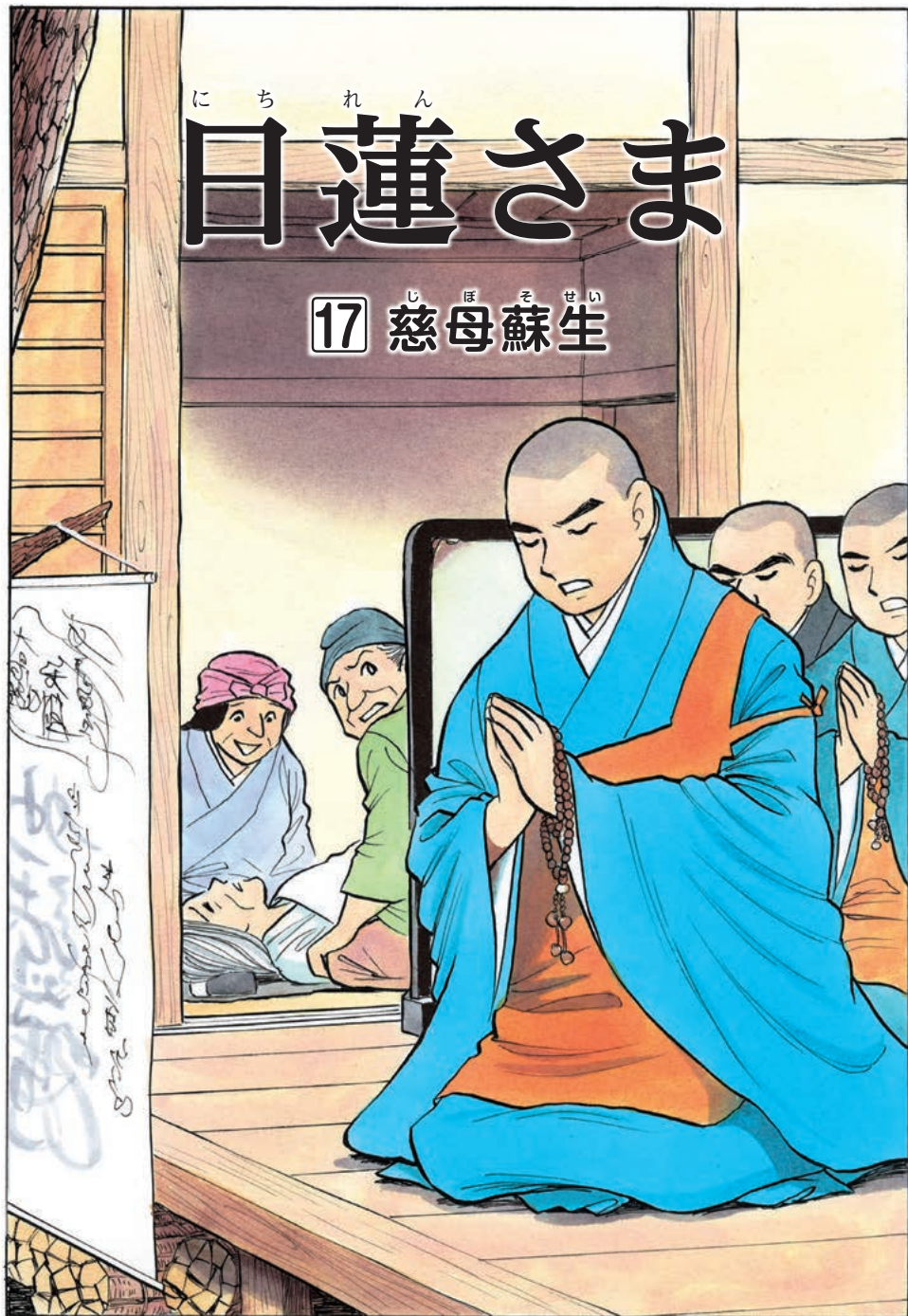
<https://www.houonji.com/>

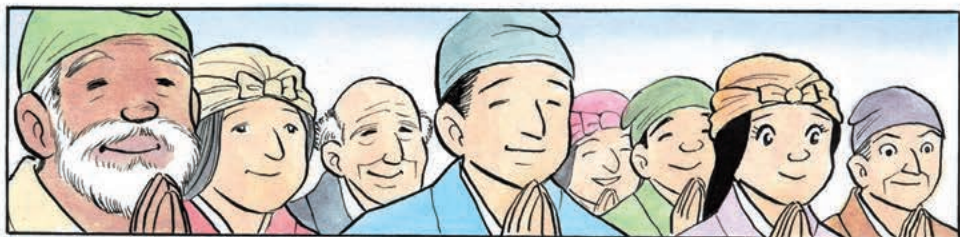
育成 facebookQRコード
当日の風景を随時配信！



に ち れ ん
日蓮さま

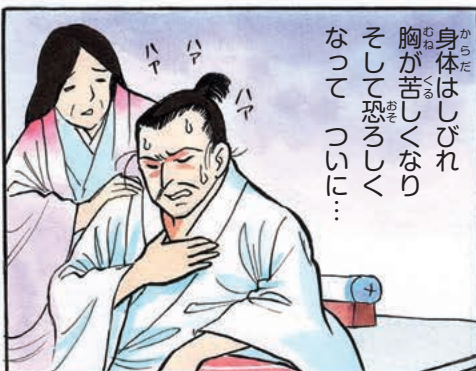
17 じ ぼ そ せい
慈母蘇生







こうなった以上
日蓮を救さねば
ならぬだろう



からだ
身体はしびれ
胸が苦しくなり
そして恐ろしく
なって ついに…



弘長3年（一二六三）
日蓮聖人は
赦免となり…



お上人さま
ただいま鎌倉より
知らせがまいりました



お帰り
なさいませ
お師匠さま

お上人
さまあ!!



伊豆から鎌倉へ
帰って来ることに
なりました

皆さんには心配を
かけましたね
こんなに温かく
迎えてもらえて
私はまことに
うれしい



お上人さま
この三年間
法華経も次第に
広がりとつあると
思われます

もう二度と
お役人の機嫌を
そこなわぬよう
お気をつけ
ください

しばらくは言者の
教化のみに費やされては
いかがでしょう



それはできぬことだ
私が法華経を信ずる
以上法華経に背く
者を見過ごして
何とする



それこそ一見慈悲に
みえて慈悲とは
言えぬもの
私にはそれはできぬ

病に罹った折 誰もが
医師の出す薬の中身を
何かとも知らずに飲む
であろう

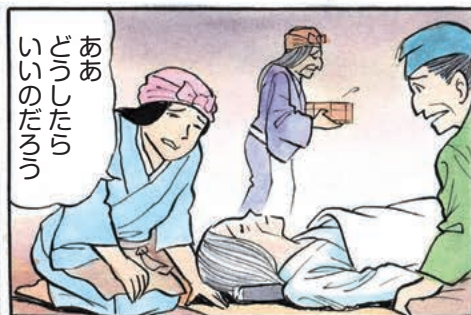
良い医師が仏であり
薬は妙法である

もし間違った薬を病人に
飲ませる医師がいるのならほ
それを止めるのは当然であろう

それは苦しんでいる病人に薬を
与えないのと同じことではないか？









母上！
日蓮がまゝの
ましたぞ
目をおあげ
ください

母上！



日蓮さま
ひたすら
一定遅かった…

母上！！



天におわします
諸天善神よ！
わが慈悲深き母上に
今ひとたびみませさせ給え
日蓮の願いを何卒
叶えさせたまえ



はい

日朗 これを
その松の枝に
かけておくれ



日蓮聖人は
法華経薬王品の

「病即ち消滅して
不老不死ならん」
と一偈を紙に書き

清らかな水をひたして
母の口に
含ませました



妙法蓮華經如来
寿量品第十六

自我得仏来
所経諸劫数

園林詣堂閣
種種玉荘嚴…

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經



日蓮さま
今妙蓮さまの
手が動き
ました!



お顔に
赤味も
さして
きました



母上!
日蓮で
ございます

母上!!



日蓮…

つづく

慈母蘇生

伊豆流罪を赦免された日蓮聖人でしたが、執権・北条長時による禁足令が出ていました。鎌倉へ帰った翌年、長時が死亡したため、11年ぶりに故郷へ帰ることが許可されたのです。

父・貫次郎重忠は、日蓮聖人が『立正安国論』を顕わす前に岩本・実相寺で一切経と向き合っていた頃に亡くなっていました。その後、母・梅菊は日蓮聖人の身を案じながら独りで暮らしていました。

日蓮聖人が家に到着した時、まさに梅菊が息を引き取った瞬間だったといわれています。日蓮聖人は一心に経を唱え、蘇生させました。そこから梅菊は4年寿命を延ばしたと伝えられています。

この時、松の枝にかけた御本尊の複製が法音寺にあります。（写真参照）母をなんとしても救いたいという日蓮聖人のお気持ちが届いてくるようです。





お寺の本棚



『御開山上人御遺稿集』

お釈迦さまは宇宙ただ一人の尊い仏

「我今何れの処にしてか懺悔の法を行ぜん」と。


時に空中に声ありて、即ち是の語を説かん。

釈迦牟尼仏をば毘盧遮那遍一切処と名けたてまつる」

これは、本仏・釈尊の偉大なる力を知って懺悔せよ、ということです。

われわれが太陽に熱があることを知るのには、われわれの体に太陽の暖かさを感じて知るのであります。われわれが仏さまを知るのも、仏さまがこの世に現れて教えを説かれ、その教えを聞いて初めて仏さまのありがたさがわかるのであります。仏の教えを学びますと、仏の大慈悲がわかり、お釈迦さまこそ幸福な人をつくる根本の仏さまであることがわかります。





お釈迦さまは、この宇宙にただ一人きりしかいない、大慈悲を与えられる實在の仏さまであります。私達は、この仏さまの大慈悲という大きな力の中に包まれているのであります。この大きな慈悲心に包まれて、お互いに親切にし合い、感謝し合って、仏さまの力と一緒に生きていくよう修行して進まなければなりません。

仏さまの大慈悲が私達の体に通うようになって、立派な働きもできるようになるのです。この仏の力が一切の人間に通って、立派な働きをさせることを遍一切処というのであります。

この仏さまが、永遠にわれわれとともにいらっしやるのですからありがたいのでありますし、われわれはいつでも仏とともにいるような温かい心、美しい心をもって暮らしていけるものがあります。仏さまを信仰していく意義はここにあるのであります。懺悔をするという大事なことも、この仏の大慈悲に抱かれているのだ、と常に心に思っ修行することでもあります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (14)

無量義經 説法品第二

爾そのときに大莊嚴菩薩だいじょうこんぼさつ、復また仏ほとけに白もつして言もつさく、世尊せそん、世尊せそんの説法せつぽう不可思議ふかしぎなり。衆生しゅじうの根性こんじやう亦また不可思議ふかしぎなり。法門ほうもん解脱げだつ亦また不可思議ふかしぎなり。我等われら、仏ほとけの所説しよせつの諸法しよほうにおいて復疑難またぎなんなけれども、而しかも諸もろの衆生迷惑しゅじゆめいわくの心こころを生しやうぜんが故ゆえに、重かさねて世尊せそんに諮といたてまつる。

その時に大莊嚴菩薩が再び、仏さまに申されました。

「世尊よ、世尊のおっしゃることがあまりに広く、深いので、そのご精神のあるところを知ろうと思っても、容易ではありません。聞く方の人間の根気も性質もいろいろで、知り分けることは容易ではありません。み教えを聞いて修行し、世間の苦しみや悩みから解脱しようとしても、いずれによって解脱でき得るか見定めることが容易ではありません。しかし私どもは、永い間仏さまのみ教えをうかがっておりますから何の疑いもありません。仏さまはいつでも適切なみ教えを与えてくださることを信じておりますが、多くの人々は迷惑の心を生ずるかもしれませんから、繰返して世尊におうかがい申します」

如來にょらいの得道とくどうより已來このかた四十余年よねん、常つねに衆生しゅじやうの爲ために諸法しよほうの四相そうの義ぎ・苦くの義ぎ・空くうの義ぎ・無常むじやう・無我むが・無大むだい・無小むじやう・無生むじやう・無滅むめつ・一相そう・無相むそう・法性ほつじやう・法相ほつそう・本來空寂ほんらいくうじやく・不來ふらい・不去ふこ・不出ふしやう

・不没^{ふもつ}を演説^{えんぜつ}したもう。

「如来は真理をお覚りになられ、世間に出て教えを説き始められてから既に四十余年が過ぎ、この間に四相の義をお説きになりました。そして、世の中に処する根本の教えとして『苦・空・無常・無我』等々をお説きになりました」

「苦」とは、人生は苦であり、満足がないということ。

「空」とは、人生には表面上いろいろな差別があるが、その差別は一時的のものであるから、差別を離れたところの根本の理を深く考えなければならぬということ。

「無常」は、世の中に同じ状態が続くものは何もないということ。

「無我」は、自己というものも終始変化して行くものであるから、小さい自己に執着してはならないし、必要以上に執着するものではないということ。

「無大・無小」とは、大きいとか小さいという差別は目の前にはあるけれども、それは一時的の差別であり、絶対の理というものは、大・小といった形に捉われたものではないということ。

「無生・無滅」という変化も、「一相」^{一相}ただ一つの相であるということ。

差別相を離れて考えることを「無相」と言い、「法性・法相」とは、すべてのものに現れた本質的な性質・真実の相を言います。

絶対の理というものは、『本来空寂』であって変わらないもので、『不来・不去・不出・不没』^{一行}たり来たり、出たり消えたり、動いたり変わったりするものではないということ、如来はお説きくださったのであります。

おやしろ仏教

写経のいよ

なぜ書くの(五種法師のいよ)

法華経・法師品に説かれる修行者の行いとして五種法師があります。五種法師は「受持・読・誦・解説・書写」の5つで、このうち「書写」が「写経」です。

その法師品に「この経には、如来の身体がまさに一揃いの全体をなして存在している」とあります。また分別功德品には「この法門を写本に作りなして、肩に担う人は、如来を肩に担っているのである」と説かれています。

私達が法華経を書写することは、仏さまをご供養していることになるのです。

写経の方法

法音寺の写経は、「納経帳」としてのお経本の形のもと、写経用紙があります。納経帳は受け取る際に、写経用紙のものはお寺に納める際
に供養金を納めます。

写経は本来、墨を磨り、筆で書写します。現在は時代に合わせ、筆ペン・ボールペン・鉛筆などで書写することも認められています。



ためがき 為書のこと

何を祈願して写経をしたのかを書く欄があります。それを「為書」といいます。

(例 先祖供養・追善供養・罪障消滅・身体健全など)

書写した写経は…

書写し終わった写経は、支院・布教所にお納めください。
最終的に本山へ納められ、山首上人さまにご祈念をしていただきます。

写経の意義(聖教 五種法師の事『法音』148号7頁)

写経の真の意義は、仏さまに供養し、感謝の心を表わすところにあります。ですから、字の上手、下手などは少しも問題ではありません。いくら字が下手でも、自分の書ける字で、一生懸命真心を込めて書けばそれで目的は達するわけです。

先師御報恩納経のこと(『一日一言』1月20日より)

納経帳を一卷書写すると、極楽行き切符が一枚いただけます。その切符で極楽に行くことができますが、油断はできません。実は、一度怒ると燃えてしまうのです。貪っても、愚痴を言っても消えてしまいますから、百冊くらい書いても間に合わないかもしれません。写経をすると同時に、慈悲・至誠・堪忍の三徳を実行いたしましょう。



写経の功德 烏龍・遺龍
YouTubeはこちらから!

ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

〈悩み続けた十年間〉

日々、精進

大学在学中、児童養護施設へ実習に行ったことをきっかけに施設に興味を持つようになり、卒業後、駒方寮に入職しました。十年間で多くの子ども達と関わってきましたが、皆それぞれ課題を抱えており、支援のむずかしさと自分の無力さ、人生経験や学びの浅さを強く感じる毎日でした。

中でも、児童の進路支援は大変で、自立支援担当として、退所者支援に携わった三年間は、特に苦しい日々でした。学力・学習意欲の低さ、金銭課題によって、児童が進める道は極端に狭められ



ています。進学できても、義務教育ではない高校・大学等は、単位が修得できないと留年・退学もあり得ます。就学を続けるためには周囲の何倍もの努力が必要で、夢があってもそれを叶えるにはさらにエネルギーが必要でした。就職できたとしても安心することはできません。職場につまく適

応できずに苦しみ、退職を選ぶ者もいました。手を差し伸べようとしても連絡が途絶えたり、最善の支援策が見つからなかったり、問題解決までに至らなかった例は多くあります。一緒に課題に向かうこと、解決策を提案することはできても、最終的には本人が踏ん張らなければ、先へは進めません。〃自分にもっと知識と技術があれば…〃と、葛藤や苦悩は尽きませんでした。

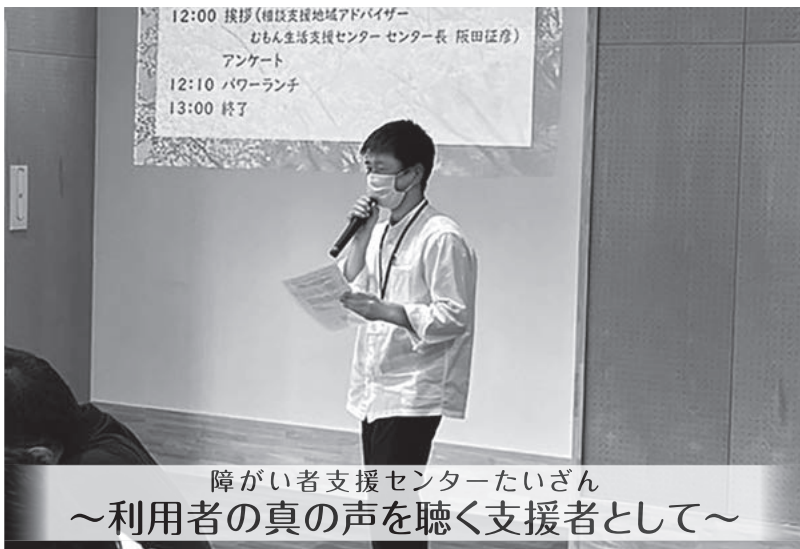
現在は、3歳未満から小学生までの部署を担当しています。乳児期に大人との愛着形成ができず、既に発達等に影響が出ている児童も多くいます。同じ年頃の子と比較して、能力的には近くても、特に対人関係においては、明らかな差を感じてしまうこともあります。〃限られた時間の中で、自分はどこまでこの子達の力を伸ばしてあげることができるのか。子どもが望む環境を与えられてい

るか〃と、入職して十年経った今でも子どもへの関わり方についての悩みは尽きません。一人ひとりに合ったより良い支援ができるよう、これからも日々研鑽していきたいです。

駒方寮 児童指導員 奥 紗理



「障がい者支援センターたいざん」開設



写真提供・昭徳会

令和5年4月1日より、愛知県みよし市の障がい者支援施設 泰山寮の事業に相談支援事業が加わりました。

相談支援とは、障がい者（児）（以下、利用者）が自立した日常生活、社会生活を送ることができるよう、利用者本人またはその家族の相談に応じ、必要な情報を提供し、利用者の権利擁護のために必要な援助等を行うことです。また、利用者が福祉サービスを使う時には、サービス等利用計画（以下、計画）を作成し、サービス提供事業者と利用者結びます。泰山寮はその事業をみよし市から受託して「障がい者支援センターたいざん」（以下、たいざん）として運営を始めています。これはみよし市が泰山寮に強く相談支援事業所を委託されたため、真剣に検討し、受諾させていただいた経緯があります。

これまでも泰山寮では相談支援は行っていますが、泰山寮と小原寮の利用者の計画だけを担当しており、みよし市内の利用者の計画の作成を担当して



いませんでした。みよし市から受託することで事業を広く展開できるようになり、サービス提供の場と活躍の幅も広がりました。また「たいざん」が、みよし市障がい者自立支援協議会に積極的に参加し、市内の利用者の困りごとの解決に、より協力できるようにもなりました。みよし市の相談支援専門員（以下、相談員）は、「みよし市くらし・はたらく相談センター」という建物で相談業務に当たることがルールになっています。そのため「たいざん」は、泰山寮と「くらし・はたらく相談センター」の2カ所で業務を行う体制を整え、利用者への声を傾けています。私は、障がい者の入所施設で二十余年、生活支援員として仕事をしてきましたが、「相談員として働かせてほしい」というわがまを認めていただき、今年度から利用者の声を聴く仕事に就いています。

実際に働いて、ソーシャルワークはむずかしい。利用者の真のニーズを把握するのはむずかしいと思う毎日です。このような未熟者ではありますが、利用者への声に耳を傾ける姿勢を忘れず、かつ先輩の相談員からアドバイスをいただきながら力を付けていきたいと思っています。また、相談支援事業を行うことで泰山寮が「地域共生社会」の実現に向けて何ができるのかを考え、それを実践していくことも私に与えられた課題だと思っています。誕生したばかりの「障がい者支援センターたいざん」ではありますが、一步一步進み、みよし市になくはない社会資源と言われるように頑張っていきたいと思っています。



障がい者支援センターたいざん 相談支援専門員

岡村 光騎

社会福祉法人 昭徳会 福祉セミナー

『アートでつなぐ心の架け橋』

～障がい福祉への偏見、社会の常識を変える～

定員
200名
参加無料

講演 **異彩を、放て。** ～福祉を起点につくる新たな文化～

講師 **松田 文登 氏**
株式会社ヘラルボニー 代表取締役副社長



代表取締役副社長。ゼネコン会社で被災地の再建に従事、その後、双子の松田崇弥と共にヘラルボニーを設立。4歳上の兄・翔太が小学校時代に記していた謎の言葉「ヘラルボニー」を社名に、福祉領域のアップデートに挑む。ヘラルボニーの営業を統括。岩手在住。双子の兄。世界を変える 30 歳未満の 30 人「Forbes 30 UNDER 30 JAPAN」受賞。2022 年、「インパクトスタートアップ協会」(Impact Startup Association) の理事を務める。著書『異彩を、放て。』が福祉 × アートで世界を変える。



株式会社ヘラルボニー
ホームページへ

開催日時 2023 年

10/14

13:30 ~ 15:30
(受付 13:00 ~)

開催場所

法音寺

名古屋市昭和区駒方町 3-3

アクセス

公共交通機関をご利用の方

地下鉄鶴舞線川名駅 3 番出口より徒歩 5 分、いりなか
駅 2 番出口より徒歩 7 分
名古屋市営バス「山中」停留所より徒歩 3 分

車をご利用の方

駐車場は台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



プログラム

13:30 ~ 14:00

昭徳会の紹介

14:00 ~ 15:30

講演 **『異彩を、放て。』**
～福祉を起点につくる新たな文化～

講師 松田 文登 氏

お申し込み方法

2023 年 9 月 30 日 (土) までに QR コードからお申し込みください。.....>

定員になり次第、締め切らせていただきます。

お問い合わせ先

社会福祉法人 昭徳会 法人本部事務局 福祉セミナー実行委員会
tel : 052-831-5171 mail : seminar@syoutukukai.or.jp

主催：社会福祉法人 昭徳会



↑
お申し込み
はこちらから

法音寺は「**信仰**と**福祉**のお寺」です



困っている人達の助けになることで、
法音寺には“**功德**”が積み重ねられています

(功德とは、「幸せを引きよせる種」です)

その功德が信仰を通して
皆さんに授けられるのです



法音寺による社会貢献

社会福祉法人昭徳会の運営を基に
現在1,500名を超える人達のお世話をさせていただいています



**福祉のさまざまな分野を支え、
利用者さんの幸福を実現します**



児童福祉施設

親と暮らせない約170名の子ども達の
生活を支えています

保育園

毎日370名余りの園児達の
成長を見守っています

障がい児・障がい者施設

300名を超える人々に
日々希望を与えています

高齢者施設

600名ほどのお年寄りに
寄り添っています



全国各地で日本福祉大学セミナーを開催しています

～日本福祉大学～

本学では毎年、大学後援会や大学同窓会と協力して「日本福祉大学セミナー」を開催しています。

全国各地の方に向け、本学の研究内容をわかりやすい形で講演し、ふくし文化の醸成に向けて活動しています。また、全都道府県にある地域同窓会や学生の保護者にも案内し、互いの交流をはかる場としても位置づけています。今年度は6月24日に名古屋で実施したセミナーを皮切りに、全国9会場で開催することとなりました。

ここ最近では、コロナの影響でセミナーを中止、縮小せざるを得ませんでした。今年度は数年ぶりに多くの地域で実施しています。オンラインの普及により、全国各地からでも聴講できるように、本セミナーも対面形式とオンライン形式の

どちらの方法でも参加できる形で計画したところ、これまで以上に多くの方々にお申し込みをいただいています。

7月8日に福井で行われたセミナーでは、本学客員教授で書家の金澤泰子先生が『ダウン症の娘と共に生きて』と題して講演され、その前段には同じく本学客員准教授で書家の金澤翔子さんが、「飛躍」という力強い文字を揮毫する催しも実施されました。オンラインも含め、参加した150



金澤泰子先生の講演

写真提供・日本福祉大学

名を超える方々は、翔子さんの揮毫の迫力や、泰子先生の講演に心打たれながら聴講されていました。当日はダウン症のお子さんを持つご家族の方もお越しいただき、参加者からは、「もつとたくさんの方に今日の話聞いていただけたら良かった」などの声も聞かれました。



揮毫の様様

9月以降も大学セミナーは続いていきます。すべての会で会場参加もしくはオンライン参加が可能ですので、ご興味のある内容等がございましたら、ぜひお申し込みください。

これからも全国でのふくし文化の醸成に向け、取り組みを進めてまいります。

日本福祉大学理事長・学長室 江本 健康

日時	開催場所	内容・講師
9月2日(土) 13:00~	静岡市	福祉教育・ボランティア学習研究の地平 小林 洋司(社会福祉学部 社会福祉学科 准教授)
9月3日(日) 13:00~	四日市市	グローバルな未来に向けたハイブリッド学習 佐藤 慎一(国際福祉開発学部 国際福祉開発学科 教授)
9月30日(土) 13:30~	飯田市	南信州から考えるこどもの居場所づくりや支援のあり方 湯浅 誠(特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長)、他
10月14日(土) 13:00~	東京都	しあわせのカタチ~子どものしあわせ、大人のしあわせ~ <スペシャル対談> 角野栄子(作家・日本福祉大学客員教授) × 阿川佐和子(作家・エッセイスト)

日本福祉大学後援会

検索

日本福祉大学後援会
サイト





幸せの種まき

法華經を實行し

善いことを身につくまで

行いましょう

日々の生活の中で法華經を實行し

自分自身の生き方の塔を建てましょう

大乗山 法音寺



編集後記

近年の暑さ・寒さは極端に感じます。それは単に地球温暖化だけが原因なのでしょう。日蓮聖人の生きた時代も、天災地変が相次いで起こりました。その原因について日蓮聖人は、人々が正しい教えに基づいて生活していないことに言及されました。現代人の宗教離れを思うと、今の時代は果たしてどうなのだろうと、考えさせられます。

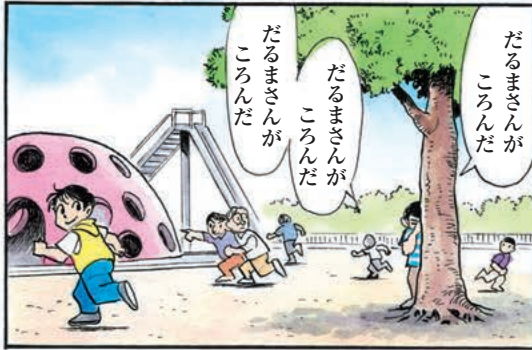
お互いが穏やかで、与え合う世の中だったならば、もっと暮らしやすい快適な世界になるはずです。お寺で法を学ぶ私達がそういう世界を実現するように働かなければなりません。しかし、私達は日々反省することはばかりです。その都度、三徳實行をお誓いすることは尊いことですが、意識せずとも言動や行動に「慈悲・至誠・堪忍」があふれるようになってはじめて、周りから見ても、仏さまのような人々に映るのではないかと思うのです。

9月は秋のお彼岸。お寺では「六波羅蜜」のお話をうかがいます。自然体で「三徳」が香ってくるようになるまで精進を重ねたいものです。

しょうすう は 少数派はつらいよ

竹中 淳





だるまさんがころんだ
だるまさんがころんだ
だるまさんがころんだ



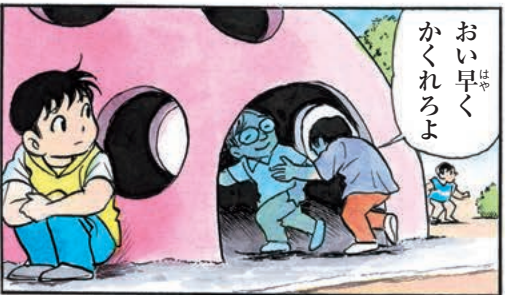
鬼!
タケルが
100数えろよ



鬼 決めるよ
ジャンケン ポン



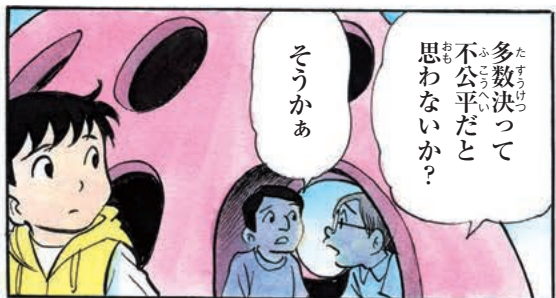
あーあ ボク
ドッジボール
やりたかったな
しかた
ないだろ
多数決で
決めたんだ



おい早く
かかれるよ



ムラセくん
今さら 何だよお



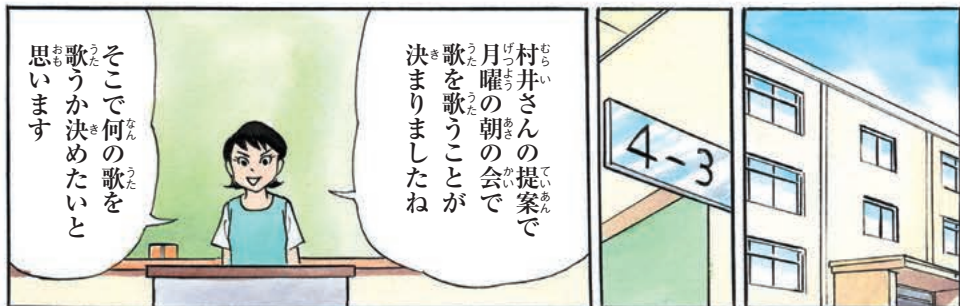
多数決って
不公平だと
思わないか?
そうかあ



いつもの
食べようよ

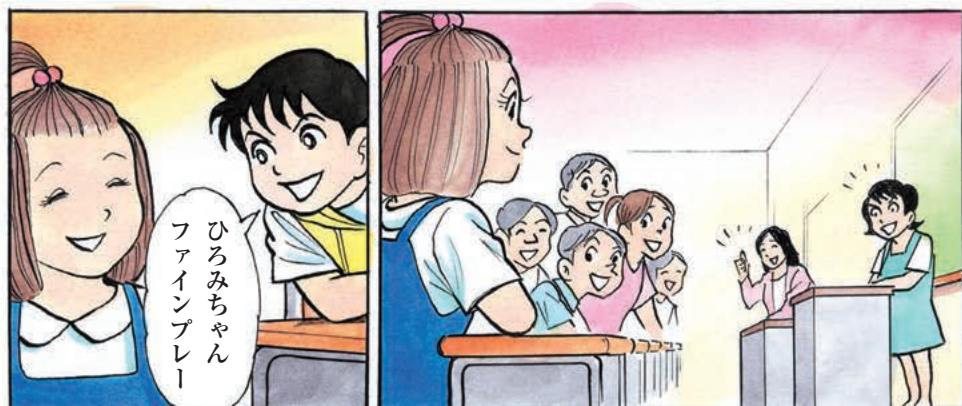


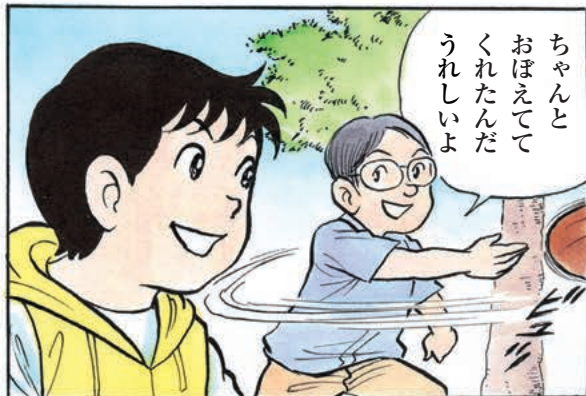
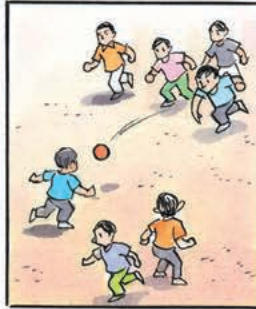












おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで

毎朝7時

『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjmovie](https://www.youtube.com/user/houonjmovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和5年9月号・No.647・令和5年9月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社